

# 株式会社コスモシステム

## 2020 年度 環境経営レポート

(対象期間 2020 年3月1日～ 2021 年2月28日)



作成日： 2021年4月21日  
更新日： 2021年7月2日

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	

## □ごあいさつ

株式会社コスモシステムは、F A・メカトロ装置開発、産業システム開発、ファームウェア開発のエンジニアリングエキスパート集団として日本のものづくりの発展と環境マネジメントシステムに積極的に貢献します。

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

株式会社コスモシステムは、機械設計、電気設計および制御ソフトウェア開発の事業を通して環境保全に資する技術や製品の開発に努め、地球環境の保全に寄与することを基本理念とします。

F A・メカトロニクス分野における設備の開発設計・製造をする企業として、人類・動植物を含めた多様な生物が永遠に発展継続するために、環境保全が事業活動に置ける重要課題の一つであると認識し、以下の通り環境方針を定めて、環境保全を行う。

### <環境保全への行動指針>

- 1 . 二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
- 2 . 分別排出、使い切り等による廃棄物排出量の削減に取り組めます。
- 3 . 水使用量の削減に取り組めます。
- 4 . RoHS基準を遵守し環境に有害な物質を排除した製品開発に取り組めます。
- 5 . グリーン購入を積極的に推進し環境負荷の少ない事業活動、製品開発に取り組めます。
- 6 . 環境関連法規・条例を遵守します。
- 7 . エコアクション21の取組により環境への取組の継続的な改善を図ります。
- 8 . 環境教育・訓練の実施により、全ての社員に環境方針を周知徹底すると同時に、環境保全に関する知識を高め向上を図ります。
- 9 . 環境活動の内容を公表し、従業員の意識の向上を図ると共に地域貢献、お客様への貢献に取り組めます。

制定日：2019年3月1日

代表取締役社長 村山孝志

## □組織の概要

更新日：2021年4月24日

### (1) 名称及び代表者名

株式会社コスモシステム  
代表取締役社長 村山 孝志

### (2) 所在地

本社 神奈川県相模原市中央区中央三丁目9番13号

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 杉山 和巳 TEL：042-768-1973

### (4) 事業内容

- ① F A ・メカトロニクス関連の設計・製作
- ② 制御系ソフトウェアの開発設計

### (5) 事業の規模

	本 社	-	-	-	合計
従業員 名	7 名	名	名	名	7
延べ床面積 m <sup>2</sup>	235 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	235
売上高 m <sup>2</sup>	87205 千円	円	円	円	87205

### (6) 事業年度

3 月 1 日 ~ 2 月 28 日

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社コスモシステム  
対象事業所： 全組織全活動

活動： F A ・メカトロニクス関連の設計・製作  
および制御系ソフトウェアの開発設計

## □事業や製品(商品)の紹介

### 受託設計開発業務

受託設計開発業務は、お客様の要求仕様に基づき設計業務から装置・制御盤製作および納品までの一括受注サービスをご提供いたします。

### リプレイス業務

ハードウェアリプレイス

古い設備、装置で制御機器・部品の入手が困難になった場合の  
今後も長期に安定稼働させるためのハードウェアリプレイスを行います。

ソフトウェアリプレイス

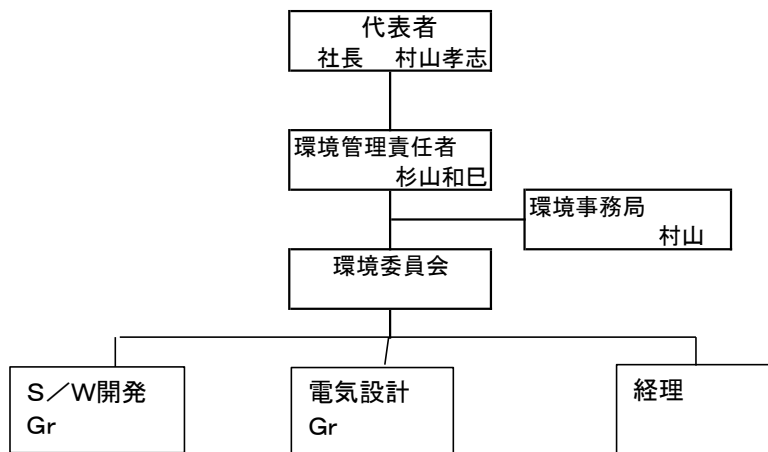
P C や P L C 機器を最新の機器に交換しソフトウェア、ラダー回路のリプレイスを行います。

### 新製品開発業務

長年培ったハードウェア・ソフトウェア制御技術を環境エンジニアリング分野に応用し、  
環境問題を意識した製品開発でお客様に満足いただけるサービスをご提供いたします。

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2020年4月24日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	9,060	9,722	8,294
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	Kg	227	106	116
産業廃棄物排出量	Kg	0	0	0
総排水量	m <sup>3</sup>	89.25	85	96

※二酸化炭素排出係数 0.441 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 電力会社の調整後の係数

□環境経営目標及びその実績

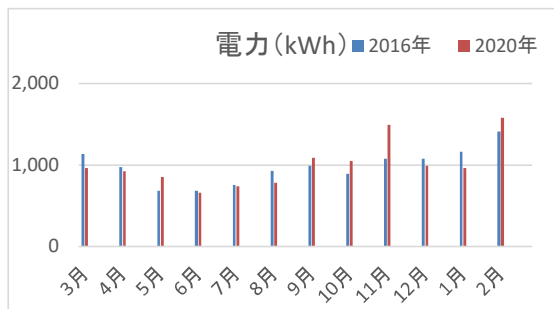
項目	年度	基準値 (基準年)	2020年		評価	2021年	2022年
			目標 基準年比 (目標)	通期 基準年比 (実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	5,045	4,945	5,329	×	4,919	4,894
	基準年度比	2016年	98.0%	105.6%		97.5%	97.0%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	3,301	3,235	2,965	○	3,218	3,202
	基準年度比	2016年	98.0%	89.8%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	8,346	8,179	8,294		8,138	8,096
一般廃棄物の削減	kg	119	116	116	○	116	116
	基準年度比	2016年	98.0%	97.7%		98.0%	97.5%
産業廃棄物の削減	kg	0	0	0	○	0	0
	基準年度比	2016年	98.0%	0.0%		98.0%	97.5%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	88	86	96	×	86	85
	基準年度比	2019年	98.0%	109.7%		98%	98%
グリーン購入の推進 (オフィス用品G購入率)	% (金額率)	—	40%	65%		50%	60%
環境に配慮した生産活動	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	コロナ過による換気をしながらエアコンの使用で、電気の使用量が大幅に増えている。今しばらくは、この状態が続くと思われる。密を避ける事で、暖房にかかる電気代は上昇する事が予想される。
・空調の適温化(冷房28℃程度、暖房20℃程度)を徹底		○	
・パソコン、コピー機などのOA機器は、省電力設定にしている		○	
・間引き照明を実施している		○	

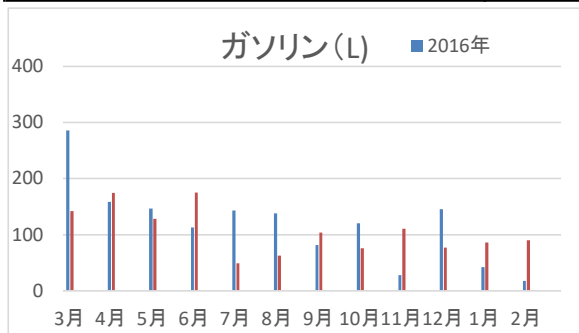


- ・パソコンの未操作時に自動でモニタおよびパソコンが省エネモードになるように設定する。
- ・照明は、休憩時間帯の消灯および蛍光灯の間引きを徹底する。
- ・コピー複合機のスタンバイモード以降時間を短縮する。
- ・エアコンの温度設定および運転は、適正にする。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2016年	1,134	976	684	683	753	925	992	891	1,077	1,077	1,161	1,413
2020年	964	924	851	659	740	784	1,088	1,051	1,495	988	963	1,578

都市ガスによる二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	都市ガスの使用は有りません

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	電気の使用量にも関係するが、コロナ過で外出そのものが減っている影響が大きいと思われる。公共の交通機関を減らして自動車による移動が増えているが、ガソリンの使用量は少なく抑えられている。
・エコドライブなど運転方法の配慮	○	
・公共交通機関の利用などにより、社用車の使用削減	○	

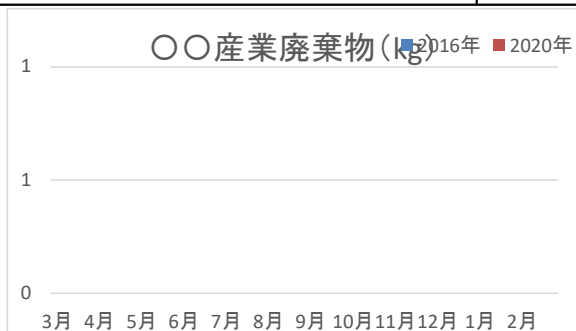


- ・公共交通網の利用促進
- ・ストップの使用禁止の継続

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2016年	286	159	147	113	143	138	82	121	28	145	42	18
2020年	142	175	129	175	49	63	104	76	111	77	86	90



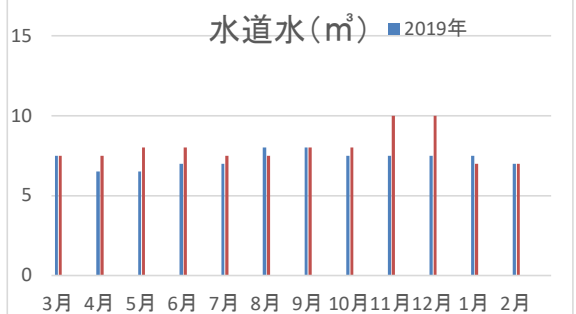
産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	年度を通して産業廃棄物は有りませんでした。
・無駄な購入品を減らす。	○	
・部品選定時に余剰に購入しないよう慎重に選定する。	0	
	0	



・部品購入時に、誤発注や余分な発注を行わない。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2016年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2020年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	下期より、1年の目標を93m <sup>3</sup> へと変更したが、10月、11月に来客が多く使用量が増えてしまいましたが、業務上、仕方がない。
・手洗い時、洗い物においては、日常的に	○	
・蛇口のゆるみ、閉め忘れの確認を徹底	○	
・水道配管からの漏水を定期的に点検	○	



・手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行  
 ・蛇口のゆるみ、閉め忘れの確認の徹底  
 ・水道配管からの漏水を定期的に点検している

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2019年	8	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	7
2020年	8	8	8	8	8	8	8	8	10	10	7	7

洗浄剤使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	—	・化学物質の使用は有りません
0		
0		
0		

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	—	必要なものに依存することが多く、極力、極力再生材料で作られた商品を購入しています。 参考値として評価はグリーン購入比率が50%以上で○としています。
・再生資源の積極的利用に取り組んでいる	○	
・再生紙又は未利用繊維への転換を図っている	○	
・環境に配慮した物品のリストに基づいた購入	○	
・環境ラベル認定など製品を優先的に購入	○	
・再生材料から作られた製品を優先的に購入、使用	○	

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・RoHS基準を遵守し環境に有害な物質を排除	○	パソコンを使ったデスクワークが中心なので、環境に配慮した製品としては、物品の購入時に鉛フリーやRoHS対応の製品を選んでいます。 また、取引先より環境に関する資料の提示を求められた際には、エコアクションの認定番号を伝えています。
・グリーン購入を積極的に推進し環境負荷の少ない事業活動	○	
・環境関連法規・条例を遵守	○	
・エコアクション21の取組により環境への取組の継続的な改善	○	
・環境教育・訓練の実施により、全ての社員に環境方針を	○	
・環境活動の内容を公表し、従業員の意識の向上	○	

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	許可の確認、保管基準、マニフェスト交付
NOx・PM法	排気ガス規制に適合した自動車の使用
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める
各社グリーン調達基準	有害物質の管理（非使用、基準遵守等）
廃掃法	ゴミの管理
家電リサイクル法	特定家庭用機器をなるべく長期間使用
小型家電リサイクル法	（使用者）分別し、再資源化を適正に実施するものに引き渡すように努める
自動車リサイクル法	抹消登録
相模原市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等の推進に関する条例	資源化及び適正な処理並びに地域の清潔の保持の推進に当たって
RoHS指令	（特定有害物質使用制限）指令

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

**□外部からの環境上の苦情・要請等**

2020年度、苦情・要請は有りませんでした。

**□緊急事態対応の試行・訓練**

<b>緊急事態の想定： 火災の発生</b>	
■実施日： 2020/3/23	■実施場所 本社2階
■参加者： 村山、村山、今村、柏井、熊沢、杉山	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練	
■評価： 問題なし	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 広域避難場所の確認を行い、地図を掲載 火災発生時の緊急事態における机上シミュレーション	

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2021年4月22日

総合的には良い結果が得られたと思う。  
新型コロナウイルス感染対策の為、常時換気を行っている。  
また、密を回避する為、出来るだけソーシャルディスタンスを取っている。  
こうした中では光熱費によって発生するCO2の上昇はやむを得ない。  
また、密を回避する為、出来るだけソーシャルディスタンスを取っている。

水の使用量に関しては最低限に抑えているがが良い結果は得られていない。  
衛生面を考慮すると、目標値の変更を必要とするため、下半期より上下水道の目標値を変更するものとする。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり ○○
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直す
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

## □これまでの環境活動の紹介

2009年よりエコアクション21のガイドラインが2009に準拠した内容で活動を行ってきました。

## □編集後記

エコアクション21のガイドラインが2009から2017に代わり2018年度より対応しております。